

開催要綱

2015年 北海道社会保障学校 in 江別

医療・社会保障の拡充で住み続けられるまちづくりをめざして

記念講演

安倍政権の社会保障改革のゆくえ

芝田 英昭氏

立教大学コミュニティ福祉学部 福祉学科 教授

日程

2015年10月12日
(月・休日)

時間 9:00 開場
9:30 開校
~16:00 閉校

場所 江別市民会館
(江別市高砂町6番地)

参加費 1,500円

第1分科会

国保制度をよくするために
-都道府県化と
国保料(税)引き下げ運動-

第2分科会

これからどうなる
医療・介護

第3分科会

マイナンバー制と
社会保障

第4分科会

くらしに役立つ講座

各分野の実態とたたかい

労働者	中川 喜征さん (全国福祉保育労働組合北海道地方本部副委員長)
年金	小泉 恵喜さん (年金者組合江別支部書記長)
生活保護	後藤 昭二さん (「新・人間裁判」原告団団長)

記念講演

安倍「社会保障改革」を問う！ 真の改革への対案

芝田 英昭氏

立教大学コミュニティ福祉学部 福祉学科 教授

1958年 福井県生まれ。専門は社会保障論・福祉政策論。

主な著書に、『公的介護保険を考える』（1995年）・『これからの社会保障』（1999年）・『社会保障のダイナミクスと展望』（2005年）・『国保はどこへ向かうのか』（2010年）・『国民を切り捨てる「社会保障と税の一体改革」の本音』（2012年）など多数。

タイムスケジュール

全体会	9:30~11:45
各分野から報告	9:45~
記念講演	10:15~11:45
昼食休憩	
分科会	12:45~15:30
全体会	15:30~16:00

分科会

◆第1分科会 国保制度を良くするために—都道府県化と国保料（税）引き下げ運動—

国保は、医療保険における最大のセーフティネットです。厚労省は、医療費適正化のために、国保の保険者を都道府県に移行することを決めました。しかし、保険料の徴収や保険の給付などの実務は市町村が今まで通り担うことになり、今後も市町村における運動が重要です。

こうした状況下で、保険料を引き下げた運動の教訓を明らかにし、全道的運動へ前進させることが重要です。また、加入者の命と暮らしを守るため、加入者等の医療費負担の軽減をする一部負担金の減免運動も重要です。国保制度を改善させるために学習し取り組みを交流します。

小講演 「国保の都道府県化とは何か？それとどう闘うか」

講師 三浦 誠一さん(北海道社保協副会長・
北海道生活と健康を守る会連合会会長)

◆第2分科会 どうなる医療・介護

安倍政権は、医療や介護に対する国の責任を放棄し、住民や利用者、自治体に負担を押し付け保険給付の対象を縮小しています。昨年の医療介護総合法や今年度の介護報酬改定、医療保険制度等改革法は、すでに道内の地域や住民、事業所に深刻な影響を及ぼしています。必要な医療や介護が受けられ地域に住み続けられるために、自治体と共同した取り組みが重要になってきています。特に、地域医療は深刻な状態になっています。現在、2025年の2次医療圏ごとの医療提供体制の検討が進められていますが、北海道は大幅なベッド削減案を示しています。また、介護の分野でも「要支援」者の訪問介護と通所介護を2016年度中に、自治体まかせの「新総合事業」への移行が求められています。地域からの制度改善のとりくみについて学び合います。

小講演 「地域医療をどう守り介護の新総合事業にどう向かうか」

講師 斉藤 浩司さん(北海道社保協事務局次長)

◆第3分科会 ナンバー法と社会保障

マイナンバー制度は、この10月から住民票を有するすべての人に12桁の番号が付番され、明年1月から希望する人に写真付きの「個人カード」が交付されます。目的は社会保障、税、災害対策で手続きの簡素化、利便性を図るとしてありますが、行政目的以外にも広げ、日常の公共サービスの効率化だけでなく、広い範囲で個人情報や「共通カード」で管理します。「公益上の必要」であれば警察の捜査にも活用して「監視国家」の危険があります。また、情報の流失、プライバシーの保護など多くの問題があります。しかも多くの国民は周知していません。この機会に十分学習をして制度の廃止に向けた運動を広げましょう。

小講演 「マイナンバーで社会保障手続きは簡単になる？」

講師 池田 法仁さん(北海道商工団体連合会事務局長)

◆第4分科会 暮らしに役立つ制度

貧困と格差が広がり「生活が苦しい」という国民が62.4%です(2014年国民生活意識調査)。国の制度は改悪されていますが、国民は暮らしを守るために、いろいろな制度を作らせ改善させてきました。

今ある制度を使い、さらに改善させていくことが必要です。しかし制度は自己申請が基本で、制度内容も十分周知されていません。講座では、北海道社保協の『道民の暮らしに役立つハンドブック』を利用して、税金や保険料、生活、医療、介護、仕事などで困ったときなど、すぐに役立つ制度を学べます。

小講演 「道民の暮らしに役立つ制度」

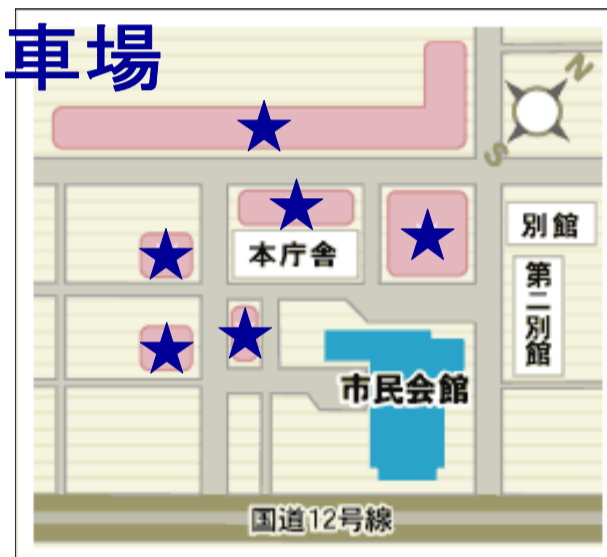
講師 佐藤 宏和さん(北海道生活と健康を守る会連合会副会長)

会場へのアクセス



交通機関	路線名	乗車	停留所(駅)名	所要時間	備考
JR	【函館本線】	札幌方面より	JR高砂駅	徒歩 約10分	札幌駅より約25分 ※札幌-江別間が区間快速となる列車は停車しません。 江別駅より約2分 ※札幌-江別間が区間快速となる列車は停車しません。
		江別方面より			
ジェイ・アール北海道バス	【江別線】	札幌・新札幌方面より	江別市役所前	徒歩 約1分	JR野幌駅経由
		江別方面より	江別市役所前	徒歩 約5分	
北海道中央バス	【江別2番通線】	大麻方面より	市役所通(2番通沿い)	徒歩 約5分	JR野幌駅経由
		江別方面より	市役所通(2番通沿い)	徒歩 約5分	
夕鉄	【江別線】	野幌方面より	市役所通(6丁目通沿い)	徒歩 約5分	JR高砂駅経由
		江別方面より	市役所通(6丁目通沿い)	徒歩 約5分	

駐車場



車でお越しの方は、★で表示されたエリアが駐車場になります。

江別市民会館 江別市高砂町6番地

参加申込書

参加者氏名	所属団体名(個人申し込みは住所)	電話	午前	午後 分科会				昼食
			講演	①	②	③	④	500円
サワノ タカシ (例) 澤野 天	北海道社保協	011-758-2648	○			○		○
フリガナ								
フリガナ								
フリガナ								
フリガナ								
フリガナ								
フリガナ								

◎申し込み締め切り: 10月1日 当日申込有

◎分科会名

①「国保制度をよくなるために」 ②「これからどうなる医療・介護」 ③「マイナンバー制と社会保障」 ④「暮らしに役立つ講座」

◎昼食は500円です。(受付時に代金を申し受けます)

申込先: 江別市民 FAX 011-864-7124 (東部民商) Mail sedbis2000@yahoo.co.jp

道内全域 FAX 011-758-4666 (道社保協) Mail shahokyo@dominiren.gr.jp